



Happiness



～君が笑えば、幸せが広がる～

第2学年通信 第15号 R3(2021)1.13

勝負の1年が始まります

先週から2年生のまとめとなる3学期が始まりました。と同時に、進路を決定するための大切な1年がスタートしました。この1年が終わる頃には、全員が進むべき路(みち)を定め、実現に向けてラストスパートをかけています。そういった意味では、今学期を『3年生の0学期』と捉えて考えるといいかと思えます。

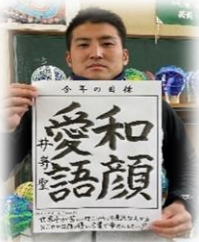
2021年はどんな年になるのでしょうか。1人1人進む道のりは異なりますが、共通して言えることは『やり遂げた』と思える1年にしてほしいです。勉強・行事・部活動 etc...全てにおいて『中学校生活最後の』という言葉が付いてきます。そのためにも、まずはこの3学期をそれぞれのクラスで、そして2年生として最高の形で終わられるように、互いに「協調」しながら毎日をごきましょう。



思いに応える～自分の事として考える～

始業式では校長先生、生徒指導の片山先生からお話をいただきました。学年外の先生からアドバイスをいただける貴重な機会でした。それぞれの内容を自分の中に落とし込み、自分自身や集団の力を高めるために何が必要か、しっかり考えていってほしいと思います。(1つ目・2つ目は校長先生、3つ目は片山先生から)

| 「1年の計は元旦にあり」 | 箱根駅伝を通して伝えたいこと | 君たちならもっとできる！ |
|---|---|--|
| 計画(目標)を立てるのは早い方がいい。進路実現に向けて具体的に考えていこうという話。 | 「強い思いを持つこと」、何が起こるか分からないから「最後まで諦めないこと」の大切さの話。 | 終業式に続き、今が悪いわけではないが、「現状に満足せず、もっと良くしていこう」という話。 |
| ちなみに先生の今年の目標は『和顔愛語』にしました。意味は「おだやかな表情と心優しい言葉」です。苦しい社会情勢が続きますが、この困難をプラスに変えていくにはこれが一番だと思ひ、選びました☆ | 個人的には青山学院の竹石選手に注目。箱根を走るためだけに就職をせず再チャレンジし、その夢を実現しました。本番、納得のいく走りはできませんでしたが、 <u>志を持って選んだ進路に後悔はないはず</u> 。皆さんも自分の可能性を信じ、周囲からも応援される進路を選んでいってください。 | やはり見抜かれていたかというのが正直なところ。個々で見たら力はありますが、「=集団の力」に結び付いているかと言われると今ひとつ…。ここは『 <u>誰かの幸や不幸を自分の事として考える</u> 』ことを日常生活に生かすことで改善するでしょう。これから良くなっていくことに期待しています。 |



◆久々のあいさつ運動でした◆

始業式に生徒会長の筑紫くんから、「寒いからこそ元気よく挨拶をしよう」「余裕を持って登校できるように」という呼びかけがあり、3日間、朝から元気な挨拶が飛び交っていました。



保護者の皆様へ

明けましておめでとうございます。旧年中はお世話になりました。中学校生活の集大成となる1年が幕を開けました。子ども達に本気で頑張ってもらいたいからこそ、色々な場面で大人の本気を見せていきたいと思っています。上手くいくことも、そうでないこともありますが、目指す方向は同じでありたいです。今後とも学校とご家庭で連携を取り合って、お子様の成長を支えていけたらと思います。

どうぞ、今年も宜しくお願いします。 学年主任 井寄 聖